

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成20年2月21日(2008.2.21)

【公開番号】特開2006-226718(P2006-226718A)

【公開日】平成18年8月31日(2006.8.31)

【年通号数】公開・登録公報2006-034

【出願番号】特願2005-37976(P2005-37976)

【国際特許分類】

G 04 F 5/02 (2006.01)

G 10 H 1/00 (2006.01)

【F I】

G 04 F 5/02 C

G 10 H 1/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月8日(2008.1.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

拍毎に強拍及び弱拍の任意の組み合わせの拍子パターンを設定するための操作子と、前記操作子により設定された強拍及び弱拍の任意の組み合わせの拍子パターンを記憶するための拍子パターン記憶手段と、

前記拍子パターン記憶手段に記憶された拍子パターンを繰り返し再生する拍子パターン再生手段と

を有するメトロノーム。

【請求項2】

前記操作子は、強拍を設定するための強拍操作子及び弱拍を設定するための弱拍操作子を有する請求項1記載のメトロノーム。

【請求項3】

請求項2記載のメトロノームと、

演奏操作するための鍵盤と、

前記鍵盤の演奏操作に応じて楽音信号を生成する楽音生成手段と

を有する電子楽器。

【請求項4】

前記強拍操作子及び前記弱拍操作子は、前記鍵盤の異なる鍵域の鍵である請求項3記載の電子楽器。

【請求項5】

前記操作子は、操作速度又は操作強度に応じて強拍又は弱拍を設定することができる請求項2記載のメトロノーム。

【請求項6】

さらに、前記操作子により拍毎に強拍又は弱拍が設定される毎にその設定された強拍又は弱拍の拍子パターンを表示する拍子パターン表示手段を有する請求項1記載のメトロノーム。

【請求項7】

さらに、拍子を選択するための拍子選択手段と、

前記操作子により設定された拍子パターンが前記拍子選択手段により選択されると、前記拍子パターン記憶手段に記憶されている拍子パターンを表示する拍子パターン表示手段とを有し、

前記拍子パターン再生手段は、前記操作子により設定された拍子パターンが前記拍子選択手段により選択され、かつ再生が指示されると前記拍子パターン記憶手段に記憶されている拍子パターンを再生する請求項1記載のメトロノーム。

【請求項8】

さらに、前記拍子パターン再生手段が前記拍子パターンを再生すると前記拍子パターン及びその再生している拍の位置を示すマークを表示する拍子パターン表示手段を有する請求項1記載のメトロノーム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】メトロノーム及び電子楽器

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、メトロノーム及び電子楽器に関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明の目的は、強拍及び弱拍の任意の組み合わせの拍子パターンを設定することができるメトロノーム及び電子楽器を提供することである。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明のメトロノームは、拍毎に強拍及び弱拍の任意の組み合わせの拍子パターンを設定するための操作子と、前記操作子により設定された強拍及び弱拍の任意の組み合わせの拍子パターンを記憶するための拍子パターン記憶手段と、前記拍子パターン記憶手段に記憶された拍子パターンを繰り返し再生する拍子パターン再生手段とを有する。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】